

フロン回収作業ボランティア

～ ご協力ありがとうございました～

当推進協議会では、今回の震災の被害により廃棄処分される家庭用冷蔵庫等に残留するフロンの回収作業を、会員の皆さんのボランティア活動等により実施してまいりましたが、4月末までに処理した家庭用冷蔵庫の数は約4,848台となりました。

これも一重に会員の皆さんの熱意と努力の結果だと考えております。ご協力本当にありがとうございました。

ボランティア活動によるフロン回収につきましては、4月末をもちまして終了いたしました。各地域での回収作業については、市町等が引き続き実施していくこととなっております。

今後ともフロン回収について、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

(廃冷蔵庫からのフロン回収実績)

実施期間 : 平成7年2月13日～4月30日

総回収台数 : 4,848台

のべ参加人数 : 約1,000名

	神戸東部	神戸西部	尼崎市	西宮市	芦屋市	明石市	川西市	宝塚市	伊丹市	淡路全域	合計	累計
2月実績	61	24	171	291	4	8	0	0	0	47	606	606
3月実績	336	281	308	723	154	47	90	47	243	196	2,425	3,031
4月実績	224	136	281	403	107	11	83	88	316	168	1,817	4,848
合計	621	441	760	1417	265	66	173	135	559	411	4,848	

- 関連情報 -

オゾン層保護法が改正されました。

1992年のモントリオール議定書改正でH C F C、H B F C及び臭化メチルが規制物質となったことに伴い、「オゾン層保護法」（「特定物質の規制等によるオゾン層保護に関する法律」）及び同法施行令が改正されました。（平成7年2月15日告示・平成7年3月20日施行）

これにより、フロン12（C F C）等の特定フロンが本年末をもって製造禁止となることに加え、フロン22（H C F C）等の従来の特定フロンについても、順次削減され、2020年には実質全廃となることとなりました。主な内容は以下のとおりです。

1．新たに特定物質として追加されたフロン22等のH C F C、H B F C及び臭化メチルについて、我が国が遵守しなければならない生産量及び消費量の基準限度が次のとおり定められました。

物質名	基準限度		(2) 生産量	消費量
H C F C	1996年以降	(1) 基準量比	(3)	
		100%以下	-	6,003
		65%以下	-	3,902
		35%以下	-	2,101
		10%以下	-	600
		0.5%以下	-	30
	- 全 廃 -	-	0	
H B F C	1996年以降	- 全 廃 -	0	0
臭化メチル	1996年以降	1991年比 100%以下 (貨物の輸出入に際して行う検疫用を除く)	3,939	4,275

(1)基準量 = HCFCの1989年消費量算定値 + CFCの1989年消費量算定値 × 0.031

(2)生産量及び消費量 = 各物質の実際重量 × ODP（オゾン破壊係数）の総計（単位：ODPトン）

(3)HCFCは、モントリオール議定書において、消費量のみが規制されることとなっている。

2．唯一の指定物質であったフロン22等のH C F Cが特定物質となったため、指定物質についての規定が削除されました。

3．フロン22等のH C F Cの使用に当たっての用途範囲及び選択の際に考慮すべきことに関して次のとおり定められました。

(1) より環境に適切な（オゾン層破壊が少なく、地球温暖化等の他の環境への影響も考慮して、より適切である）他の代替物質又は代替技術が利用可能でない場合に限り使用すること。

(2) 人命又は人の健康を保護するための極めて限られた場合（医療用等の用途に用いられ、かつ、必要不可欠の場合）を除くほか、付属書A（C F C、ハロン）、付属書B（その他のC F C、四塩化炭素、1,1,1-トリクロロエタン）及び付属書C（H C F C、H B F C）に掲げる物質が現在使用されている用途以外の用途に使用しないこと。

(3) オゾン層の破壊を最小限にするように、かつ、他の環境、安全及び経済上の考慮にも適合するように使用の際に選択すること。

南極のオゾンホール、過去最大を記録

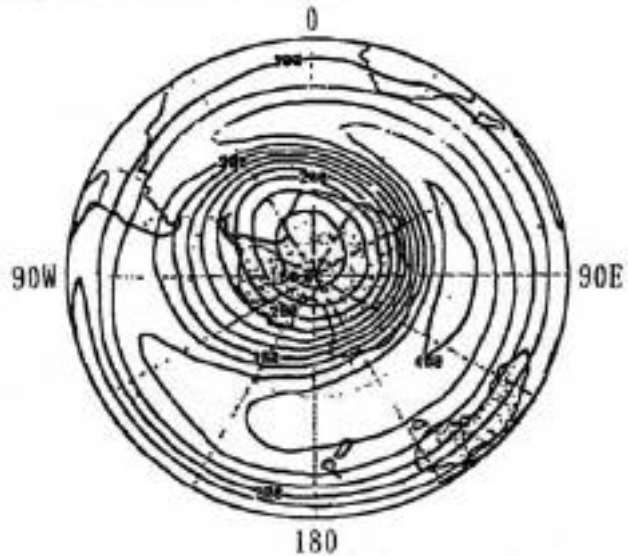
～ 昨年の観測結果 ～

気象庁は、このほど昨年1年間のオゾン層の変化を分析した「オゾン層観測報告1994」をまとめました。

これによると、昨年9月、南極上空のオゾンホールの面積が過去最大の約2,400Km²を記録。南極・昭和基地のオゾン全量の月平均値は、2月から9月まで連続してその月の過去最低値を記録しました。 全地球的に見ると、北半球の高緯度地域で年間を通じてオゾン全量が少なく、3月に北極海付近で平年より20%も少ない値を観測しています。

TOMS (人工衛星)による1994年10月の月平均オゾン全量

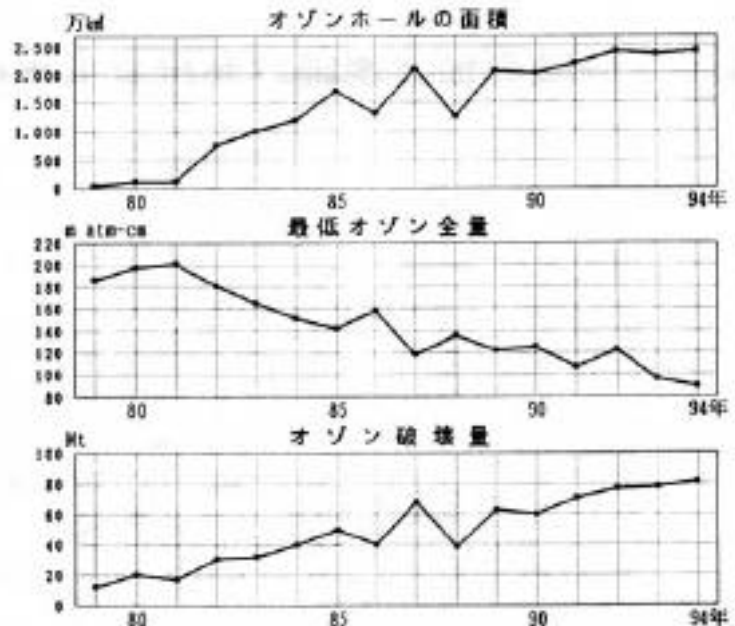
150m atm-cm以下の領域が出現したのは1987、1992、1993年に続き4度目であり、1993年に次いで面積が大きい。1993年には125m atm-cmの等値線がみられたが、1994年にはみられなかった。(NASA提供のデータをドブソン計による測定値と比較検討の上作成)



等値線間隔は25m atm-cm毎

オゾンホール3要素の経年変化

オゾンホール3要素は45°S以南で定義され、面積はオゾン全量が220m atm-cm以下の面積、最低オゾン全量はオゾン全量の最低値、オゾン破壊量はオゾン全量を300m atm-cmに回復させるために補充を要するオゾンの質量。(NASA提供のデータをドブソン計による測定値と比較検討の上作成)



- お知らせ -

フロン回収普及啓発用リーフレット

「フロン回収を進めましょう - オゾン層保護に向けて地域から - 」ができました！

このたび当推進協議会では、フロン回収のための普及啓発用リーフレット「フロン回収を進めましょう - オゾン層保護に向けて地球から - 」を作成しました。
フロン回収作業や社内での研修等にご利用下さい。（ご希望の方は事務局まで）

加西市、市川町でフロン回収が始まりました！

市町の先陣を切って、加西市と市川町で廃冷蔵庫からのフロン回収が開始されました。
内容については、次のとおりです。

（加西市）

開始 平成7年1月当初

場所 加西市クリーンセンター

対象 市民から回収した廃冷蔵庫及び市内業者が持ち

込んだ廃冷蔵庫

装置 1台（フロン12専用）

（市川町）

開始 平成7年2月17日

場所 市川町ゴミ焼却場

対象 町民から回収した廃冷蔵庫のみ

装置 1台（フロン12専用）

詳しくは、加西市施設管理課（TEL 0790-42-1100 内線1511）まで。詳しくは、市川町環境整備課（TEL 0790-26-1010 内線242）まで。

- 協議会加入を呼びかけて下さい！ -

当協議会は、フロンに関わる全ての方々のための団体です。

フロン回収処理について関心を持たれている方々や関連する業者の方々に、当協議会への加入を呼びかけて下さい。

みんなでオゾン層を守りましょう！

兵庫県フロン回収・処理推進協議会事務局

〒650 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県保健環境部環境局大気課内）

電話 (078)341-7711 内線3365 ダイヤルイン(078)362-3284

F A X (078)362-3966